



ジオン注射療法 (痔核硬化療法) を開始しました



痔核の治療法



内痔核（イボ痔）の治療法には主に以下のようなものがあります。

- ① 生活改善
- ② 薬による治療
- ③ 外科的治療
- ④ **ジオン注射療法（痔核硬化療法）**

当院ではこれまで①～③を行ってきましたが、今回新しい治療法である**ジオン注射療法**を開始しました。

ジオン注について



ジオン注（痔核硬化療法）は、切らずに注射で内痔核を治療することができる治療方法です。

治療後の痛みもごく軽度で、早期の退院も可能です。以前からこのような硬化療法は行われていましたが、ジオン注射療法は従来の方法より優れており、ジオン注を内痔核に注射することで、内痔核を硬化させて縮小させます。1回の治療で効果が発揮されます。

ジオン注のメリット

切開を伴う手術が要らない
注射だけで治療が可能
短時間で治療可能
治療後の痛みや出血が少ない
翌日から排便が可能
保険適用の治療法である



ジオン注のデメリット

約10%程度の方が再発するとされる
1年後の再発は5～7%程度

ジオン注のできない方

妊娠・授乳中の方、透析中の方
嵌頓痔核のある方など

ジオン注は四段階注射法とも呼ばれ特殊な注射技術と知識が必要とされるため、専門の講習会を受講し手技を習得した医師しか治療は行えません。当院では1名の認定医が常勤し、治療の可否について診療しております。内痔核でお悩みの方は1度ご相談下さい。

問い合わせ先：南大阪病院外来予約センター または 地域医療推進室

受付時間：平日 9：00～17：00 ・ 土曜日 9：00～15：00

連絡先：予約センター 06-6683-9416 ・ 地域医療推進室 06-6685-0221（代）